

# KENWOOD

平成16年1月13日施行

## 新電波型式表示にともなう 申請書の記入例

本資料は平成16年1月13日から施行された新電波型式表示にともない、無線事項書や工事設計書の記入例を主な機種ごとに説明したものです。

新電波型式表示や一括記載コードの詳細については、日本アマチュア無線連盟(JARL)やアマチュア無線雑誌社などの資料などをご参照ください。

保証を受けての申請に関してはティエスエス株式会社へお問い合わせください。

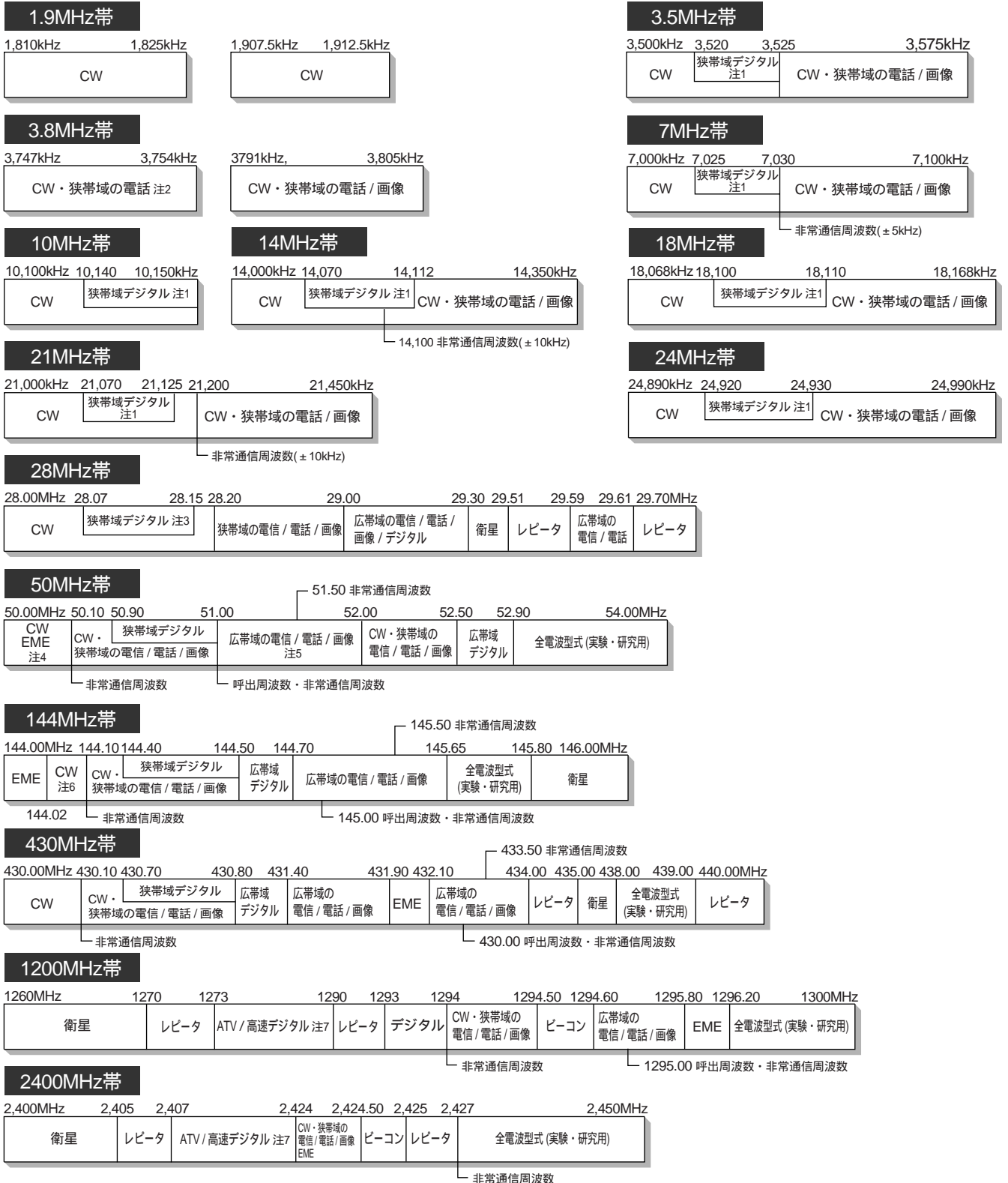
ティエスエス株式会社

〒112-0011 東京都文京区千石 4-22-6 保証事業部 (03) 5976-6411

なお、本資料の説明内容は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

# アマチュアバンドの使用区分

2004年1月13日から変更されたアマチュア無線バンドの使用区分です。



(5600MHz, 10.1GHz, 10.4GHz 帯は記載していません)

- 注1：F1B, F2D, G1B, G1Dに限ります。
- 注2：A1A, H3E, J3E, R3Eに限ります。
- 注3：A2A, A2B, A2D, F1B, F1D, G1B, G1Dに限ります。
- 注4：外国のアマチュア無線局と通信を行なう場合に限り、RTTYおよびデータ電送を行なうことができます。
- 注5：51MHz～51.5MHzの周波数で、外国のアマチュア局と通信を行なう場合は、狭帯域の電信/電話/画像にも使用することができます。

- 注6：月面反射通信にも使用できます。ただし電波の占有周波数帯域幅の許容値は6kHz以下のものに限ります。
- 注7：高速デジタルは、電波の占有周波数帯域幅が9MHz以上のものに限ります。

# 無線事項書と工事設計書の記入例

## TS-480HX/ SAT/ DAT/ VAT で申請するときの例

本機に付加装置を付ける場合は、保証を受けての申請になり、無線事項書と工事設計書の欄に記入が必要になります。また、付加装置の諸元の記入や付加装置の送信機系統図の添付も必要になります。なお、工事設計書には一括記載コードは記入できません。

21 希望する周波数の範囲、空中線電力、電波の型式				
周波数帯	1	空中線電力	電波の型式	5
1.9M	2	4	A1A	2
3.5M		4	3HA	6 4HA 7
3.8M		4	3HD	6 4HD 7
4,630k	2	4	A1A	2
7M		4	3HA	6 4HA 7
10M	2 3	4	2HC	2 3
14M	2 3	4	2HA	2 3
18M	2	4	3HA	6
21M		4	3HA	6 4HA 7
24M		4	3HA	6 4HA 7
28M		4	3VA	6 4VA 7
50M		4	3VA	6 4VA 7

22 工事設計		第 1 送信機	
変更の種別		取替	増設 撤去 変更
技術基準適合証明番号		KN 8	
発射可能な電波の型式、周波数の範囲		9 A1A { 1.9MHz帯 2 4,630kHz帯 2 10MHz帯 A1A { 3.5MHz帯 2 3 3.8MHz帯 A3E { 7MHz帯 14MHz帯 2 3 18MHz帯 2 F1B { 21MHz帯 24MHz帯 28MHz帯 50MHz帯 F3E	
変調の方式		J3E 平衡変調 F3E リアクタンス変調 A3E 低電力変調	
定格出力		4	
終 段 管	名称個数	10	
	電 圧	13.8V	
送信空中線の型式		11	
その他の工事設計		電波法第 3 章に規定する条件に合致している	

- 1: 無線従事者資格に対応した、希望する周波数帯を記入します。
- 2: 第四級アマチュア無線技士は免許を受けることはできません。
- 3: 第三級アマチュア無線技士は免許を受けることはできません。
- 4: 無線従事者資格に対応した、希望する空中線電力を記入します。移動局は50Wまでしか免許を受けることはできません。TS-480HX やTS-480SAT については50Wに出力を下げる必要があります。(取扱説明の83項を参照)なお、第四級アマチュア無線技士は28MHz帯以下は10W、50MHz帯では20W以下の送信機でしか免許を受けることはできません。
- 5: 希望する電波型式は、一括記載コードが定められているものは、そのコードを記入します。一括記載コードが定められていないものは電波型式を記入します。
- 6: 資格が第三級アマチュア無線技士以上の場合は、この一括記載コードを記入します。電波型式としてA3EおよびJ3Eの他にA1A(モールス符号による電信)を含むことを意味します。A1Aを希望しないときは、資格にかかわらず、24MHz帯以下は「4HA」、28MHz帯以上は「4VA」と記入します。
- 7: 資格が第四級アマチュア無線技士の場合は、この一括記載コードを記入します。
- 8: 技術基準適合技適証明番号(技適番号)は0から始まる8桁の番号を記入します。
- 9: 付加装置を付けてPSK31で運用する場合はG1Bを追記してください。TNC装置を付けてパケット通信を行なう場合、SSBモードを使用するときはFSK方式はF1D、PSK方式はG1Dを、FMモードを使用するときはF2Dを追記してください。
- 10: TS-480HXは「2SC2782 x 4」、TS-480SAT/ DAT/ SATは「2SC2782 x 2」と記入します。
- 11: 使用する空中線の型式名を記入します。

# 無線事項書と工事設計書の記入例

## TS-2000 S/ V/ SX/ VX で申請するときの例

本機に付加装置を付ける場合は、保証を受けての申請になり、無線事項書と工事設計書の欄に記入が必要になります。また、付加装置の諸元の記入や付加装置の送信機系統図の添付も必要になります。なお、工事設計書には一括記載コードは記入できません。

21 希望する周波数の範囲、空中線電力、電波の型式				
周波数帯	1	空中線電力	電波の型式	5
1.9M	2	4	A1A	2
3.5M		4	3HA	6 4HA 7
3.8M		4	3HD	6 4HD 7
4,630k	2	4	A1A	2
7M		4	3HA	6 4HA 7
10M	2 3	4	2HC	2 3
14M	2 3	4	2HA	2 3
18M	2	4	3HA	6
21M		4	3HA	6 4HA 7
24M		4	3HA	6 4HA 7
28M		4	3VA	6 4VA 7
50M		4	3VA	6 4VA 7
144M		4	3VA	6 4VA 7
430M		4	3VA	6 4VA 7
1200M	注	10W	3SA	6 4SA 7

注：TS-2000S や TS-2000V は 1200MHz 帯を追加した場合のみ記入します。

22 工事設計		第 1 送信機			
変更の種別		取替	増設	撤去	変更
技術基準適合証明番号		KN 8			
発射可能な電波の型式、周波数の範囲	9	A1A	1.9MHz帯	2	
		A1A	4,630kHz帯	2	
		A1A	10MHz帯		
		A3E	3.5MHz帯	2	3
		J3E	3.8MHz帯		
		F1B	7MHz帯		
			14MHz帯	2	3
			18MHz帯		
			21MHz帯	2	
		A1A	24MHz帯		
		A3E	28MHz帯		
		J3E	50MHz帯		
		F1D	144MHz帯		
		F2D	430MHz帯		
		F3E	1200MHz帯		注
変調の方式		J3E 平衡変調 F3E リアクタンス変調 A3E 低電力変調			
定格出力		4			
終 段 管	名称個数	1.9～50MHz帯：2SC5125 x 2 144MHz帯：2SC2694 x 2 430MHz帯：2SC3102 x 1 注 1200MHz帯：M57762 x 1			
	電 圧	13.8V			
送信空中線の型式		10			
その他の工事設計		電波法第 3 章に規定する条件に合致している			

- 無線従事者資格に対応した、希望する周波数帯を記入します。
- 第四級アマチュア無線技士は免許を受けることはできません。
- 第三級アマチュア無線技士は免許を受けることはできません。
- 無線従事者資格に対応した、希望する空中線電力を記入します。移動局は50Wまでしか免許を受けることはできません。TS-2000S や TS-2000SX については50Wに出力を下げる必要があります。(取扱説明の100項を参照)なお、第四級アマチュア無線技士は28MHz帯以下は10W、50/144/430MHz帯では20W以下の送信機でしか免許を受けることはできません。(1200MHz帯は資格にかかわらず10W以下です。)
- 希望する電波型式は、一括記載コードが定められているものは、そのコードを記入します。一括記載コードが定められていないものは電波型式を記入します。
- 資格が第三級アマチュア無線技士以上の場合は、この一括記載コードを記入します。電波型式としてA3EおよびJ3Eの他にA1A(モールス符号による電信)を含むことを意味します。A1Aを希望しないときは、資格にかかわらず、24MHz帯以下は「4HA」、28MHz帯以上は「4VA」と記入します。
- 資格が第四級アマチュア無線技士の場合は、この一括記載コードを記入します。
- 技術基準適合技適証明番号(技適番号)はKから始まる5桁の番号を記入します。
- 付加装置を付けてPSK31で運用する場合はG1Bを追記してください。TNC装置を付けてパケット通信をSSBモード運用する場合、PSK方式はG1Dを追記してください。
- 使用する空中線の型式名を記入します。









